

最上クロスロード

国道13号 泉田道路通信

第8号 令和3年11月 発行

◆最上クロスロードについて◆

新庄市は、南北に国道13号と奥羽本線が縦断し、東西に横断する国道47号と陸羽東線、陸羽西線が交差することから、「東北の十字路」と呼ばれ、交通の要衝として栄えてきました。現在、「新たなクロスロード」として国道13号泉田道路、新庄金山道路と国道47号新庄古口道路、高屋道路を整備をすすめていることから「最上クロスロード」と題し、事業進捗や工事状況等を随時お知らせして参ります。

<ご意見・お問い合わせ先>国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所 新庄建設専門官室

〒996-0041 新庄市大字鳥越字舟田608-2 (新庄国道維持出張所内)

TEL: 0233 (22) 1731、FAX: 0233 (22) 1731 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syuchu/shiniji/index.html>

コンクリート舗装の工事現場を見学

10月28日(木)泉田道路で現場見学会を行いました。今回は、日頃から工事にご協力頂いている近隣住民の皆様にご参加いただきました。

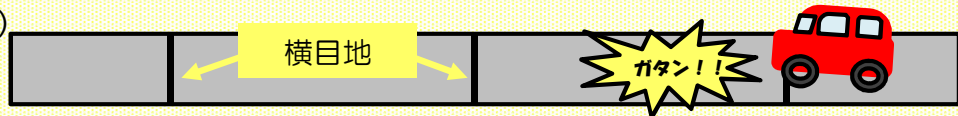


・道路ができて、便利になったら良いね～
・高いので眺めが良い

・昔は人手がたくさん必要だったけど、今は機械があるから早く作業ができるようになった。
・なかなかない機会だから見学に来て良かった。機械が大きくてびっくりした。

この工事箇所は、連続鉄筋コンクリート舗装で作業を行っています。受注者の鹿島道路(株)岩淵さん・館岡さんにどのような特徴があるのかを教えてくださいました。

(通常)



(本工事)



通常のコンクリート舗装は、10m毎に横目地があり、走行時に振動と音が発生します。

連続鉄筋コンクリート舗装はこの横目地による凹凸がないため、振動や騒音が低減されるというメリットがあります。

作業機械をご紹介!

連続鉄筋コンクリート舗装をスムーズに進める為に、情報化施工技術『3D-MC』システムを用いて作業しています。



この2台の機械が作業本体の機械にデータを送り、制御しています。

『3D-MC』とは、設計データを用いて建設機械を直接制御する技術です。

- ・電子データによる自動制御のため、施工量や仕上り精度の向上が図れる
 - ・建設機械周辺作業の減少により、接触事故の防止が図れる
- など、安全性・品質面・施工性の向上が期待できます!

参加していただいた11名の皆様、ありがとうございました。お陰様で貴重なご意見・ご感想を伺うことができました。今後も工事にご協力よろしくお願ひします。

